

2020年 立教大学 薬師丸ゼミ最終報告会 生徒会参加活動報告書

日時：2月16日(日)12:30～16:30

場所：神奈川歯科大学 小講堂

参加者：3年 望月彩弥愛 顧問 武田 荒川

報告者：3年 望月彩弥愛

補筆 武田

校正 荒川 伊藤



◆ 参加の理由と目的

- ①. 大学生の発表を聞き、自分自身の力にするため
- ②. 今後に生かせるコミュニティを増やすため
- ③. 地元である横須賀の現状を深く理解するため

◆ 活動の経緯と内容

私たち三浦学苑生徒会は、地域とのつながりを大切にし、同時に地域の中での高校生としての在り方を考えてきました。そして、様々な活動に参加し、また企画し運営もしてきました。今年、衣笠商店街の路上ガム取りを年8回実施し、8月の24時間TVチャリティ募金をし、「よこすか ゆめ みらい」では、サポート役として活動しました。最近多いのは、横須賀、三浦地区の発展について意見を求められ、プレゼン活動があり、そうしたイベントにも誘われました。今年度は、「神奈川とひとをつなぐフォーラム」「横須賀の未来を考える若者達との討論会」「黒岩知事との対話の広場(横須賀三浦会場)」

「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング 2019」「よこすかゆめみらい」などがありました。

今回、そうした活動の中で、つながりを頂いた横須賀市役所の高橋さんから、薬師丸ゼミのお話を聞き、顧問の先生と相談の上、参加させて頂くこととなりました。ただ、ほぼ直前の連絡で、しかも、1・2年生が役員交代の準備に追われている時期であったために、私一人の参加になってしまいました。

立教大学、法学部 薬師丸ゼミは「地域の課題を発見し、解決すること」をテーマに活動しています。行政・民間企業・観光協会・商工会議所・商店街・NPO 法人・銀行・住民の8つの分野に分かれて、それぞれの利害関係者の方々と信頼関係を深めながら、課題発見と課題解決を目指しています。今回は、その最終報告会とのことでした。私たちは、地域にあつての三浦学苑生徒会だと思っています。今後も後輩たちがこうした活動を引き継いでくれることを考えています。



◆ 感想

今回の報告会は、さまざまな分野に関する横須賀の問題についての発表を聞くことになりました。大学生の調べた量と発表のクオリティに驚きました。私が今まで発表してきたもので、あそこまで詳しく突き詰めて調べられたことはありません。しかも、今回発表していた薬師丸ゼミの皆さんのほとんどが、横須賀が地元ではありません。地元ではない横須賀のことをあそこまで熱心に追及して調べて、問題解決をしようとしている姿はとてまかつこ良く見えます。

発表が終わった後のワークショップでは、気になっていた2つの分野について話し合いに参加することができました。私の成長にもつながったと思っています。大学生や社会人の方と話す機会はこれまでもありましたが、受験期ということもあって久しぶりでした。いつもそうですが、いろいろな話が聞けて、勉強になります。

発表を聞いたうえで自分自身の意見を言える場があったのはとてもうれしかったです。今回は、私の個人的なつながりからのお誘いでしたが、やっぱり参加してよかったです。来年度もあるとのこと。ぜひ、参加したいと思っています。



記:生徒会3年 望月彩弥愛